

大津市農業振興ビジョン（改訂版）概要

1. 農業振興ビジョンの位置づけ

大津市総合計画を上位計画とし、大津市の農業の将来像や具体的な農業振興施策をまとめた計画

2. 計画期間

平成29年度（2017年度）
～ 令和10年度（2028年度）

3. 2029年の将来像（コンセプト）

農ある暮らしがつなぐ湖都のきずな
～ 地域で支える多様な農業、地域でつくる豊かな食 ～

4. 改訂の柱

「後継者不足への対応」や「小規模農家への支援」といった「人づくり」を柱に据え、農業の持続可能性を高めます。

5. 現状と情勢

■大津市農業の現状

✓令和2年（2020）現在、大津市では約1,200の経営体が農業を営む

✓農家の98%は個人経営で、その多くは規模の小さい兼業農家であり、この割合は滋賀県や全国の平均と比べて高い

✓その理由は、農地の分散や、都市近郊型農業として自家消費や副業的な農家が多いこと、後継者不足や高齢化にある

✓1農業経営体あたり耕地面積は約1.7haで、滋賀県や全国と比べはるかに小さい

■主な農業分野の動向・社会情勢

✓COVID19の影響で家庭内調理が増加

✓ロシア・ウクライナ情勢による原油、肥料高騰、円安の影響で生産コスト上昇

✓有機・脱炭素農業事業への資金流入増加

✓国内バイオ肥料や堆肥事業への新規参入が拡大

✓インバウンド増加による高級農産物の輸出が好転傾向

✓猛暑や豪雨など災害級の異常気象が頻発

✓GX政策が本格化し、農業部門の脱炭素化義務化や支援拡大

✓温室栽培ではAI制御による精密環境管理が普及し、輸出向け高品質生産のモデル化が進展

■施行・改正された主な法令

✓みどりの食料システム戦略

✓みどりの食料システム法

✓農地法

✓農業経営基盤強化促進法

✓食料・農業・農村基本法

✓農業振興地域の整備に関する法律

✓食料・農業・農村基本計画

6. 課題

◆重点課題

●兼業農家（小規模農家）の割合の高さ

大津市は、兼業農家（小規模農家）が多く生産性の向上が難しいため、1農業経営体あたりの農業産出額は滋賀県や全国の平均と比べ低額

農業産出額

区分	大津市	滋賀県	全国
農業産出額（億円）	17.2	610	94,952
1農業経営体あたり農業産出額（万円）	140	416	883

出典：令和5年生産農業所得統計

●後継者の不足（農業経営体の減少）

大津市の農業経営体の減少スピードは、滋賀県平均よりは低く抑えられているものの、全国平均よりも早く進行している

農業経営体の減少率

区分	平成27年	令和2年	減少率	
大津市	農業経営体	1,615	1,226	24.1%
	個人経営体	1,589	1,201	24.4%
滋賀県	農業経営体	20,188	14,680	27.3%
	個人経営体	19,317	13,836	28.4%
全国	農業経営体	1,377,266	1,075,705	21.9%
	個人経営体	1,339,964	1,037,342	22.6%

出典：令和2年農林業センサス

◆その他の課題

●農地集積の低さ（生産の効率化の限界）

大津市の農地は山間部に多く、広く平坦な農地が限られているため、滋賀県や全国と比べ農地の集積・集約が進んでいない

担い手への農地の集積状況（ha）

区分	大津市	滋賀県	全国
担い手への集積面積	437.38	33,229	2,573,672
耕地面積あたり集積率	21.5%	66.5%	60.2%

出典：令和5年度担い手の農地利用集積状況調査

●荒廃農地の多さ

高齢化などで地域の担い手が減少し、作付けがなされない荒廃農地が増加

●鳥獣害

大津市は、滋賀県や全国と比べると農業産出額あたりの被害額割合が少ないが、山間部に農地が多いこともあり、シカやイノシシ、サル、ハクビシンなどの鳥獣による被害も課題となっている

7. 基本方針と重点取り組み

◆方針1「人をつくり、仲間をつくる」

重点方針

① 農業法人等（大規模農家）や主業個人経営体（中規模農家）が稼げる農業を目指す

② 兼業農家（小規模農家）や自給的農家が持続可能な農業を目指す

③ 次世代の担い手を集め、育てる

【重点的取り組み】

⇒大・中規模農家の所得向上、小規模農家の作業省力化、週末農業者等の参入促進

◆方針2「土をつくり、畑をたがやす」

① 農業施設を適切に管理し、計画的に更新する

② 遊休農地の発生を防ぎ、美しい水田環境を守る

③ 環境保全型農業を進め、きれいな水を守る

④ シカやイノシシなどの被害に対する取り組みを進める

【重点的取り組み】

⇒地域での農地の維持・管理、農業者以外も巻き込んだ体制づくり

◆方針3「種をまき、育てる」

① 大津の主力農産物をつくり、生産量を増やす

② 安心安全な農産物をたくさん作る

③ 新しい農業にチャレンジする

④ これまでにない大津らしい新商品を作る

⑤ 大学等との連携を深める

【重点的取り組み】

⇒重点7品目の生産拡大、新品目や新技術の実証

◆方針4「収穫し、お届けする」

① 卸売市場への安定的な出荷を行う

② 市場以外の様々な流通に取り組む

③ 地産地消を進め、安全安心な農産物を届ける

④ 大津市産農産物についてさらにPRする

【重点的取り組み】

⇒市場流通に応える生産体制の強化、大津市産農産物のブランド化

◆方針5「恵みを味わい、農に親しむ」

① 大津の農業にふれあう機会を増やす

② 小学校や中学校にて農業の理解を深める

③ 市民農園や観光農園をさらに活用する

④ 大津の食を楽しむイベントを支援する

【重点的取り組み】

⇒学校給食を通じた食農教育の推進、多様な市民農園の開設支援

改訂版ビジョンに反映